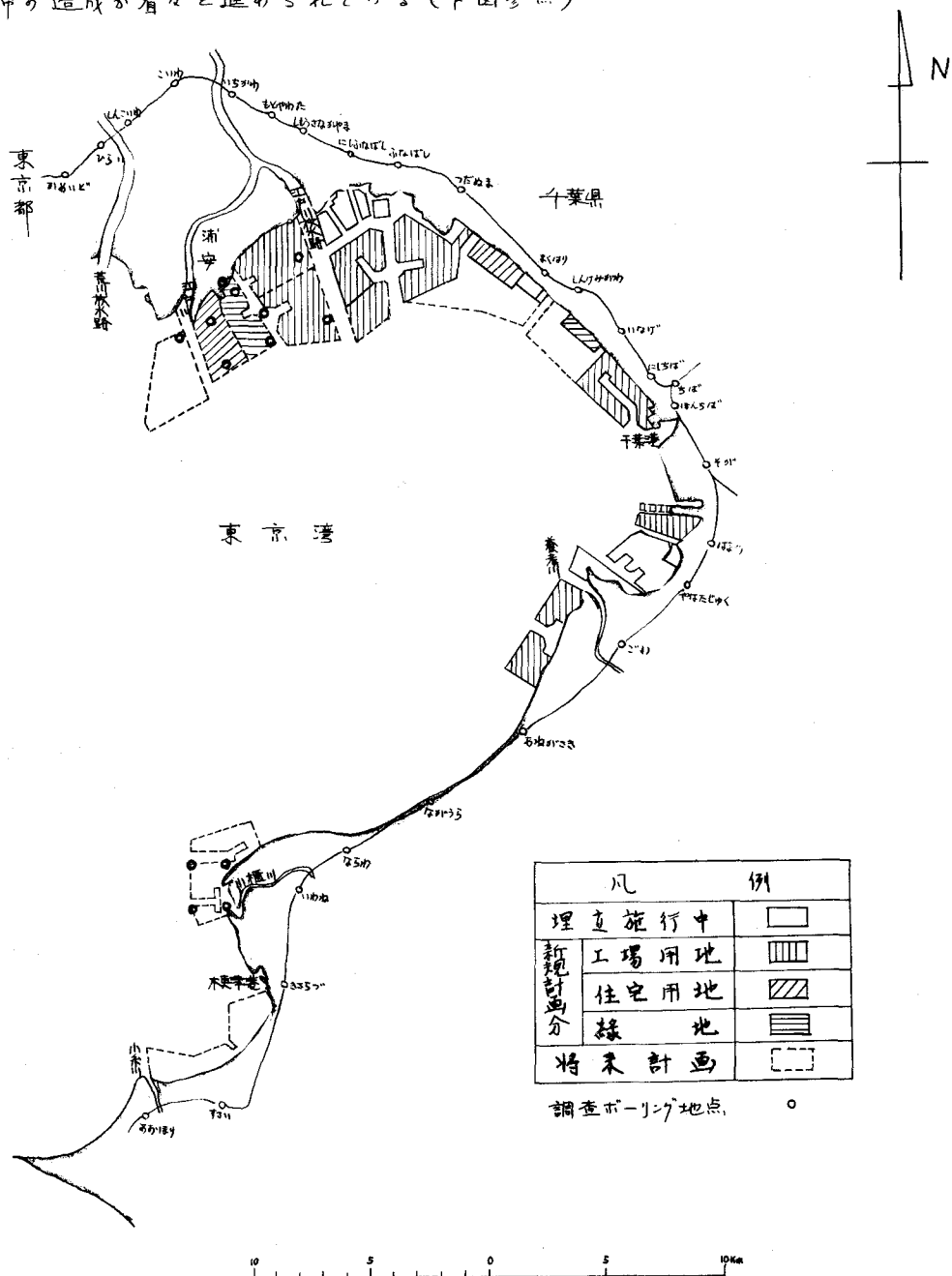


I-27 京葉工業地帯の基礎地盤調査

東京大学生産技術研究所 正員 三木五三郎

京葉工業地帯の外延地帯として、現在京葉地区の遠浅な沿岸部の埋立てによる新しい工業地帯の造成が着々と進められている(下図参照)



この場合の工業立地なりしはさらに細かな工場計画等を決める大きな因子として、埋立て地の基礎地盤の性状が極めて大きな影響を持つことはいうまでもなり。そこで千葉県では昭和34年度から、具体的な造成計画を決める基本資料の一つとして、この地域全般にあたる基礎地盤調査を組織的に実施している。

たまたま筆者は現在この調査に関与しているので、本論において地形・地盤なりしは土質の見地から立案した調査方法の内容と、すでにある程度の成果を得ている浦安地区および木更津地区の調査結果とその考察につれて報告する。